

会員・会誌購読者 各位

公益社団法人日本技術士会 中国本部 修習技術者支援委員長 森本聡

技術士を目指そう！ 『コンピテンシー向上発表会』

＊ ＊ 修習技術者支援活動 ＊ ＊

発表者 募集のお知らせ

公益社団法人日本技術士会 中国本部 修習技術者支援委員会では、修習技術者が技術士を目指して行う研さん、すなわち IPD（初期専門能力開発）を支援するための研修の場を提供しています。

技術士を目指す、学生、一般技術者、技術士補、技術士第一次試験合格者、JABEE 課程修了者などを対象に、技術士として備えるべき「資質の向上」を目指した修習技術者支援活動「コンピテンシー向上発表会」を開催します。

については、下記の要領で発表者を募集します。技術士を目指す皆様の応募を心よりお待ちしております。

記

主 催：公益社団法人 日本技術士会 中国本部 修習技術者支援委員会

日 時：2024 年 1 月 27 日（土）13:30～17:00

場 所：第 3 ウエノヤビル 6 階 コンファレンススクエア（中区鉄砲町 1 番 20 号）

対象者：技術士補、技術士第一次試験合格者、JABEE 課程修了者

技術士を目指す学生・一般技術者

技術士制度に興味を持つ方

※日本技術士会の会員の有無を問わない、企業内技術士会等の会員も歓迎

募集内容：修習技術者等の発表者 3 名を予定（発表：25 分／人、質疑考察 10 分／人）

発表テーマ：日々の業務や研究開発を通じた IPD（初期専門能力開発）の実装

（可能な範囲で以下のキーワードを盛り込む）

専門的学識・問題解決・マネジメント・評価・コミュニケーション・リーダーシップ

技術者倫理・継続研さん

- ✓ 技術士第二次試験筆記では、専門的学識と問題解決が判定され、口頭試験では、実務能力としてのマネジメント・評価・コミュニケーションならびにリーダーシップ、適格性としての技術者倫理と継続研さんが判定されます。
 - ✓ 各発表後の質疑考察に加えて、全体討議の時間を設けます。スキルアップにつながると思います。
 - ✓ コンピテンシーの解説は、別添の資料を参考にしてください。
 - ✓ 本セミナーでの発表は、プレゼンテーション力とコミュニケーション力を習得する場にとどまらず、業務を振り返り整理して発表・討論することによる業務上の課題や客観的な認知力などを再認識する機会にもなるものです。
 - ✓ 発表は、複数の課題・テーマに跨る内容でも構いません。掘り下げることが重要です。
- 1) エントリーシート : 別添の「発表エントリー様式」を使用してください。
 - 2) エントリー締切 : 2023 年 11 月 24 日（金）ただし、先着順に発表者を確定
 - 3) パワーポイントの締切 : 2024 年 1 月 19 日（金） 配付用 PDF を含む
 - 4) 申込・問合せ先 : 日本技術士会中国本部修習技術者支援委員会 当番担当 藤原哲宏

電話：082-272-1477（協同組合広島県土質試験センター 気付）

e-mail：fujiwara@hiroshima-soil.jp（@マークを半角に変換）

技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）

別紙 2

平成 26 年 3 月 7 日

科学技術・学術審議会

技術士分科会

技術の高度化，統合化等に伴い，技術者に求められる資質能力はますます高度化，多様化している。

これらの者が業務を履行するために，技術ごとの専門的な業務の性格・内容，業務上の立場は様々であるものの，（遅くとも）35 歳程度の技術者が，技術士資格の取得を通じて，実務経験に基づく専門的学識及び高等の専門的応用能力を有し，かつ，豊かな創造性を持って複合的な問題を明確にして解決できる技術者（技術士）として活躍することが期待される。

このたび，技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）について，国際エンジニアリング連合（IEA）の「専門職としての知識・能力」（プロフェッショナル・コンピテンシー，PC）を踏まえながら，以下の通り，キーワードを挙げて示す。これらは，別の表現で言えば，技術士であれば最低限備えるべき資質能力である。

技術士はこれらの資質能力をもとに，今後，業務履行上必要な知見を深め，技術を修得し資質向上を図るように，十分な継続研さん（CPD）を行うことが求められる。

専門的学識

- ・技術士が専門とする技術分野（技術部門）の業務に必要な，技術部門全般にわたる専門知識及び選択科目に関する専門知識を理解し応用すること。
- ・技術士の業務に必要な，我が国固有の法令等の制度及び社会・自然条件等に関する専門知識を理解し応用すること。

問題解決

- ・業務遂行上直面する複合的な問題に対して，これらの内容を明確にし，調査し，これらの背景に潜在する問題発生要因や制約要因を抽出し分析すること。
- ・複合的な問題に関して，相反する要求事項（必要性，機能性，技術的実現性，安全性，経済性等），それらによって及ぼされる影響の重要度を考慮した上で，複数の選択肢を提起し，これらを踏まえた解決策を合理的に提案し，又は改善すること。

マネジメント

- ・業務の計画・実行・検証・是正（変更）等の過程において，品質，コスト，納期及び生産性とリスク対応に関する要求事項，又は成果物（製品，システム，施設，プロジェクト，サービス等）に係る要求事項の特性（必要性，機能性，技術的実現性，安全性，経済性等）を満たすことを目的として，人員・設備・金銭・情報等の資源を配分すること。

評価

- ・業務遂行上の各段階における結果，最終的に得られる成果やその波及効果を評価し，次段階や別の業務の改善に資すること。

コミュニケーション

- ・業務履行上，口頭や文書等の方法を通じて，雇用者，上司や同僚，クライアントやユーザー等多様な関係者との間で，明確かつ効果的な意思疎通を行うこと。
- ・海外における業務に携わる際は，一定の語学力による業務上必要な意思疎通に加え，現地の社会的文化的多様性を理解し関係者との間で可能な限り協調すること。

リーダーシップ

- ・業務遂行にあたり，明確なデザインと現場感覚を持ち，多様な関係者の利害等を調整し取りまとめることに努めること。
- ・海外における業務に携わる際は，多様な価値観や能力を有する現地関係者とともに，プロジェクト等の事業や業務の遂行に努めること。

技術者倫理

- ・業務遂行にあたり，公衆の安全，健康及び福利を最優先に考慮した上で，社会，文化及び環境に対する影響を予見し，地球環境の保全等，次世代に渡る社会の持続性の確保に努め，技術士としての使命，社会的地位及び職責を自覚し，倫理的に行動すること。
- ・業務履行上，関係法令等の制度が求めている事項を遵守すること。
- ・業務履行上行う決定に際して，自らの業務及び責任の範囲を明確にし，これらの責任を負うこと。

継続研さん

- ・業務遂行上必要な知見を深め，技術を修得し資質向上を図るように，十分な継続研さん（CPD）を行うこと。

引用文献：「文部科学省ホームページ内「技術士分科会／技術士制度改革に関する論点整理」

コンピテンシー向上発表会

☆ 発表エントリー様式 ☆

申込日： 年 月 日

氏 名	
勤務先・所属先	
住所 (市町丁目まで)	
電 話	
メールアドレス	
略 歴 (邦文約 200 字)	

発表タイトル	
要旨 (論題概要) (邦文約 400 字)	

申 し 込 み 期 限 : 2023 年 11 月 24 日

パワーポイント提出期限 : 2024 年 1 月 19 日

【申込先】 公益社団法人日本技術士会中国本部修習技術者支援委員会 当番担当 藤原哲宏
電話 : 082-272-1477 (協同組合広島県土質試験センター 気付)
e-mail : fujiwara@hiroshima-soil.jp (@マークを半角に変換)